

いのちとくらしをまもる
防災減災令和2年3月31日
中部地方整備局
木曽川上流河川事務所
岐阜県
大垣市

大垣市浸水対策検討について (牧田川・水門川合流部改修検討) ～国、県、市が連携して進めます～

概要

牧田川、水門川合流部の牧田川左岸堤防に整備された複数の排水機場は、建設後概ね半世紀が経過しており、施設全体として老朽化が大きな課題となっています。

万が一、大規模出水時に排水機場が機能停止となれば、揖斐川と杭瀬川に挟まれ平坦な流域地形特性をもっている大垣市街地の浸水が拡大する恐れがあります。

また、当該箇所の牧田川左岸堤防は高さ、厚みが不足しており、治水安全度も低くなっています。

そのため、施設管理者である国、県、市が連携し、令和2年度から改修に向けた調査・検討を実施することとなりましたのでお知らせします。

1. 三者コメント（要旨） 別添資料1のとおり
2. 概要 別添資料2のとおり
3. 解禁 指定なし
4. 配付先 岐阜県政記者クラブ、大垣市政・経済記者クラブ
5. 問い合わせ先 国土交通省中部地方整備局 木曽川上流河川事務所

副所長 ながた もと
永田 基工務課長 たかはし しんじ
高橋 伸次

TEL 058-251-1324（工務課直通）

FAX 058-206-0012

三者合同コメント（要旨）

- ① 牧田川、水門川合流部の牧田川左岸堤防に整備された複数の排水機場は、建設後概ね半世紀が経過しており、施設全体として老朽化が大きな課題となっています。
- ② また、当該箇所牧田川左岸堤防は高さ、厚みが不足しており、治水安全度も低くなっています。
- ③ こうした課題解決には、各々の施設管理者である国、岐阜県、大垣市が連携して足並みをそろえて進めていくことを三者で、確認しました。

令和 2 年 3 月 31 日

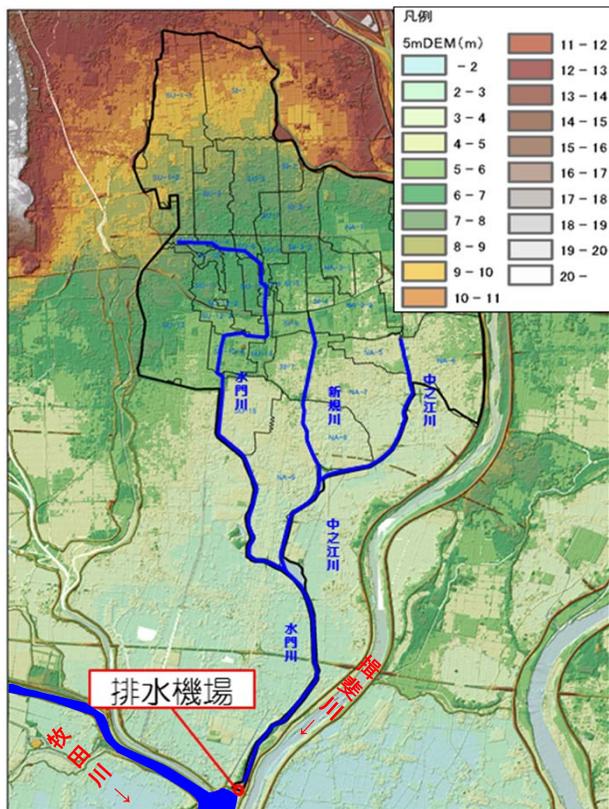
中部地方整備局木曾川上流河川事務所

岐阜県

大垣市

- 大垣市街地を流れる水門川流域は、地盤高が低く平坦な地形となっています。
- 牧田川、水門川の合流部は堤防の高さ、幅が不足している上、そこに整備されている複数の排水機場は老朽化が著しく、出水時に機能停止すれば、広範囲で浸水被害の発生が想定されます。
- そのため、国、県、市が連携し、当該地区の改修に向けた調査・検討を実施します。

○標高段彩図(水門川水系)



出典：電子地形図25000(国土地理院)を加工して作成

○牧田川・水門川合流部の現状



○各排水機場の建設後経過年数

排水機場の名称	旧水門川	新水門川	鶴森三郷	古宮
建設年度	昭和25年	昭和43年	昭和49年	昭和46年
建設後経過年数 (令和元年度時点)	69年	51年	45年	48年

○過去の浸水状況



完成イメージ

